



## 在宅医療と介護の連携 ～身近な事例から～

第22回

### 納得できる最期を迎えるために

末期がんで入院していたAさん(70代)は、コロナ禍で家族と面会できない状況が続いたため、家族や医療関係者と何度も話し合い、「最期は自宅で過ごす」と決めました。ケアマネジャーを中心に、Aさんの急な体調変化に対応できる体制を整え、訪問診療・看護・リハビリ・福祉用具貸与などのサービスを利用することで、Aさんだけでなく、家族も納得した最期を迎えることができました。

#### 介護サービス・生活環境の相談をしましょう

ケアマネジャーは、本人が自分らしく住み慣れた場所で生活できるように、介護サービス、生活環境を可能な限り調整します。納得できる最期を迎えるために、ケアマネジャー・かかりつけ医・高齢者なんでも相談室にご相談ください。